



# 平和首長会議 Mayors for Peace

## 1 概要

1945年8月、広島・長崎両市は原子爆弾により一瞬にして廃墟と化し、両市合わせて21万人を超える多くの人々の尊い命が奪われました。原子爆弾は、その投下から75年以上が経過した現在でも、放射線による後障害や精神的な苦しみを生き残った市民に残しています。被爆者の「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」という切なる思いを世界の人々に広げ、次の世代にも受け継いでいくために、広島・長崎両市は一貫して世界に核兵器の非人道性を訴え、その廃絶を求め続けてきました。

1982年6月24日、荒木武 広島市長（当時）は、米国・ニューヨーク市の国連本部で開催された第2回国連軍縮特別総会において、世界の都市に国境を越えて連帯し、共に核兵器廃絶への道を切り開こうと呼び掛けました。また、広島・長崎両市は、この呼び掛けに賛同する都市（自治体）で構成する機構として、世界平和連帯都市市長会議（現・平和首長会議）を設立しました。1991年には、国連経済社会理事会のNGOに登録されています。

※ 2001年8月5日、「世界平和連帯都市市長会議」から「平和市長会議」に、2013年8月6日に「平和首長会議（へいわしゅちょうかいぎ）」に名称変更しました。

## 2 目的

平和首長会議は、加盟都市相互の緊密な連帯を通じて核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起するとともに、人類の共存を脅かす飢餓・貧困等の諸問題の解消さらには難民問題、人権問題の解決及び環境保護のために努力し、もって世界恒久平和の実現に寄与することを目的としています。

## 3 構成

### (1) 加盟都市数（2025年4月1日現在）

|  |                |       |       |
|--|----------------|-------|-------|
| <b>166</b> か国・地域<br><b>8,477</b> 都市<br>(国内 1,740 都市) | エリア名           | 国・地域数 | 加盟都市数 |
|  | アジア            | 39    | 3,365 |
|  | オセアニア          | 9     | 137   |
|  | アフリカ           | 49    | 440   |
|  | ヨーロッパ          | 41    | 3,449 |
|  | 北アメリカ          | 3     | 343   |
|  | ラテンアメリカ・カリブ海地域 | 25    | 743   |

地域：台湾・パレスチナ・北キプロス（アジア）、北マリアナ諸島・仏領ポリネシア（オセアニア）、ソマリランド（アフリカ）、コンボ（ヨーロッパ）、グリーンランド（北アメリカ）、プエルトリコ（ラテンアメリカ・カリブ海地域）

## (2) 役員都市

役員都市は以下の21都市です（就任順）。

会長都市：広島市（日本）

副会長都市：長崎市（日本）

ハノーバー市（ドイツ）

マラコフ市（フランス）

モンテンパ市（フィリピン）

マンチェスター市（英国）

イーペル市（ベルギー）

グラノラズ市（スペイン）

ハラブジャ市（イラク）

ビオグラード・ナ・モル市

（クロアチア）

デモイン市（米国）

モントリオール市（カナダ）

理事都市：サントス市（ブラジル）

ウェリントン市（ニュージーランド）

サラエボ市（ボスニア・ヘルツェゴビナ）

バンコク都（タイ）

カルタゴ市（コスタリカ）

テヘラン市（イラン）

グリニー市（フランス）

チェルヴィア市（イタリア）

エヴォラ市（ポルトガル）

※ 下線の都市は、地域グループを管轄するリーダー都市

（19都市）

## (3) 事務局

所在地 〒730-0811 広島市中区中島町1番5号

公益財団法人 広島平和文化センター 国際部 平和首長会議・国際政策課

連絡先 TEL : (082) 242-7821 FAX : (082) 242-7452

E-mail : mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

ホームページ URL : www.mayorsforpeace.org

## 4 加盟について

### (1) 加盟手続き

ア 加盟を希望する都市（自治体）は「加盟申請書」を事務局に送付してください。

イ 事務局が毎月1回（20日頃）、各都市からの加盟申請書を取りまとめ、登録作業を行います。

ウ 加盟は登録作業の翌月1日付けとなります。また、加盟日以降に事務局から加盟都市に「加盟認定書」を郵送します。

### (2) メンバーシップ納付金

2,000円/年

### (3) 加盟後の活動（例）

ア 「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名活動の展開

イ 平和首長会議原爆ポスター展など平和行事の実施及び報告

ウ 未加盟の姉妹・友好都市や周辺都市等に対する加盟要請

エ 国内加盟都市会議総会への出席

オ 総会への出席

## 5 会議

### (1) 総会

加盟都市が集う総会を原則として4年に1回広島・長崎両市で交互に開催し、重要な事項を議決・承認することとしています。

### (2) 理事会

役員都市が集う理事会を概ね2年に1回役員都市で開催し、今後の取組や次回総会の運営方針などについて審議することとしています。



第10回総会（2022年10月 広島市）

### (3) 国内加盟都市会議総会

国内加盟都市が集う国内加盟都市会議総会を毎年1回国内加盟都市で開催し、国内における平和首長会議の取組についての協議・意見交換、国内加盟都市の取組についての情報交換等を行うこととしています。

## 6 持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン（PXビジョン）

－ 都市による軍縮と人類共通の安全保障に向けた平和構築 －

### (1) 概要

平和首長会議では、核兵器を廃絶し、人類の共存が持続可能となることにより、あらゆる人が永続的に平和を享受できる世界、すなわち「世界恒久平和」を実現するため、市民が連帯する都市を創造するとの観点から、「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン－都市による軍縮と人類共通の安全保障に向けた平和構築－」を2021年7月の第12回理事会で策定しました。

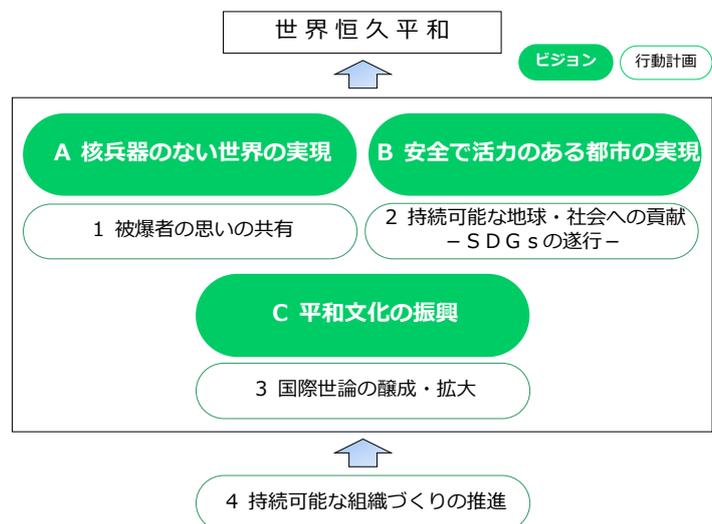
※ 略称：PXビジョン、英語名：Vision for Peaceful Transformation to a Sustainable World

### (2) 取組

都市がそこに居住する市民を核兵器の脅威から確実に守るとともに、人類の共存を持続可能とするため、平和首長会議の加盟都市は、ビジョンの三つの目標の下で、併せて策定した平和首長会議行動計画（2021年－2025年）に掲げる取組を進め、平和を構築していきます。

#### 【主な取組】

- 1 国連・各国政府への要請
- 2 平和首長会議原爆ポスター展
- 3 被爆体験講話の聴講機会の提供
- 4 被爆樹木の種や二世の苗木の配布・育成
- 5 子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト
- 6 平和教育ウェビナー
- 7 加盟都市との連携





核兵器禁止条約  
第2回締約国会議での会長スピーチ  
(2023年11月 ニューヨーク市)



グテーレス国連事務総長との面会  
(2023年11月 ニューヨーク市)  
(写真提供：国連/エヴァン・シュナイダー)



各国政府関係者との面会  
(2023年11月 ニューヨーク市)



平和首長会議ユースによる  
国連内で開催した平和首長会議  
ユースフォーラムでの発表  
(2023年8月 ウィーン市)



加盟都市による被爆樹木二世の  
苗木の植樹式  
(2024年3月 大府市)



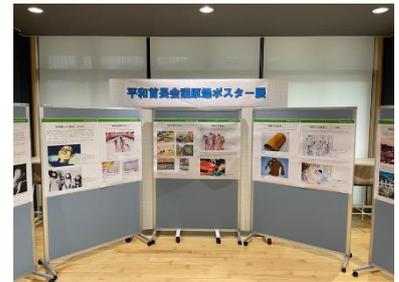
平和教育ウェビナーの開催  
(2024年2月 広島市)



街頭で署名活動を行う会長と高校生  
(2022年8月 広島市)



署名活動に従事した高校生による  
国連関係者への署名の手交  
(2023年7月 ウィーン市)



加盟都市による平和首長会議  
原爆ポスター展の開催  
(2023年8月 門川町)



## 平和首長会議 (Mayors for Peace)

### 【事務局】

〒730-0811 広島市中区中島町1番5号

公益財団法人 広島平和文化センター 国際部 平和首長会議・国際政策課

TEL : (082) 242-7821 Fax : (082) 242-7452

E-mail: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp ホームページ: www.mayorsforpeace.org